

総合工学委員会・機械工学委員会合同  
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会（第24期・第9回）  
議事要旨

1. 日 時 令和2年年1月21日（火）13:30～15:30

2. 場 所 日本学術会議6階 6-C(2) 会議室

3. 出席者（敬称略）

【委員】遠藤，大倉，桑野，柴山，須田，柘植，辻，成合，野口，平尾，松尾，松岡，水野，向殿，望月，矢川

4. 議題

〔1〕 前回議事要旨確認

第7回分科会議事要旨については、既にメール審議を経て分科会で了承し公開しているので、省略した。第8回は、提言案「工学システムの社会安全目標の新体系」の承認について外1件についてのメール審議であったため議事要旨は無し。

〔2〕 話題提供（2件）

〔2-1〕

中川委員から、「北海道ブラックアウトから考える私たちの生活」という表題で話題提供があった。2018年9月6日の北海道肝振東部地震に端を発して北海道全域で起きたブラックアウトの原因や経過について説明があり、これらについて意見交換を行った。

〔2-2〕

辻委員から、「知識と実践の接合点としての大学の安全教育」という表題で話題提供があった。東京大学において大学内の事故の状況や特徴及び事故に対する安全教育の実情などについて説明があり、これらについて意見交換を行った。

〔3〕 小委員会活動の報告

〔2-1〕 工学システムに対する安心感等検討小委員会

大倉小委員会委員長から活動の報告があり、意見交換がなされた。

〔2-2〕 安全目標の検討小委員会

成合委員から活動の報告があり、次いで野口副委員長から「安全目標の新体系提言案」の内容が説明され、種々意見交換がなされた。

〔4〕 安全工学シンポジウムについて

松岡委員会から、2020年7月1日～3日に開催されるシンポジウムについて、各小委員会に協力要請がなされた。

〔5〕 次回について

次回の日程は、幹事団が調整することとなった。

（以上）